

学年別研究

①目的

低学年部会（小1・2年）、中学年部会（小3・4年）、高学年部会（小5・6年）、中学校部会（中1～3年）の4つの部会を設け、全部員が道徳の授業を実践する。実践結果を報告し合い、分析をすることで、教師の力量向上を図る。

① 研究の内容

少人数での協働的な学習を取り入れた道徳科の授業

② 部会担当者

小学校低学年部会→道徳主任，世話係（中山・大橋），指導員，部長

小学校中学年部会→道徳主任，世話係（岩見・平川），指導員，部長

小学校高学年部会→道徳主任，特支，教務，校務，世話係（吉井・菅沼），指導員，部長

中学校部会 →道徳主任，世話係（杉浦・牧野），指導員，部長

③ 部会別研究授業について

ア 各部会で取り上げる資料について

光村図書「きみがいちばんひかるとき」

イ 研究授業の持ち方

研究を進める際には、部会で決定した本時のねらいに迫るために、どのような**手立て（発問構成，対話の形態，ワークシートなど）**を図って実践したのかを報告内容に明示したい。各部員の報告内容または代表授業者の教研リポートから今後の課題を見つたり、効果があった指導法を蓄積したりすることで、研究を深めたい。

④ 研究の方法と計画

4月15日 **第1回主任会** 学年別研究についての説明

4月中 代表授業者を決定する。

4月～5月中旬 代表授業者が授業で扱う資料を決定し、「ねらい」「学習課題」「中心発問」を起案する。

5月14日～ 学年部会で電子会議室を立ち上げる。
学年部会の部員に起案内容を電子会議室上で送付する。
各部員は送られた起案内容を検討する。

5月21日（金）までに、電子会議室に意見を書き込む。

5月21日 **第2回主任者会** 電子会議室にて紙面開催

5月24日 「ねらい」「課題」「発問」など決定したことを、各学年部会の電子会議室上で報告する。

6月21日まで 代表授業者以外の部員は各校で授業を実践する。または同じ学校の先生に実践をしてもらう。実践して気付いたこと（成果，課題など）を電子会議室上で報告する。

1学期中 代表授業者の授業実践

夏休み前半 代表授業者は岡崎市教育研究大会のレポートを作成する。

⑥「少人数での協働的な学び」の方法の例

○本時の展開上、どの発問に対して少人数での話し合いの場をもつのかを考える。

- ・ペアトーク（座席の隣りの人と2人だけによる対話）を取り入れる。
- ・4人程度のグループによる話し合いを取り入れる。
- ・付箋紙や小さい用紙を使ったブレインストーミングやKJ法で意見を「見える化」する
- ・ホワイトボードを活用し、グループの意見をまとめたり、黒板に貼ったりする。
- ・座席（コの字、4人など）の配置を工夫して話し合いを効率的に行う。
- ・タブレットなど、ICTを活用する。

※学級の実情に応じて、最適な方法を取り入れる。

